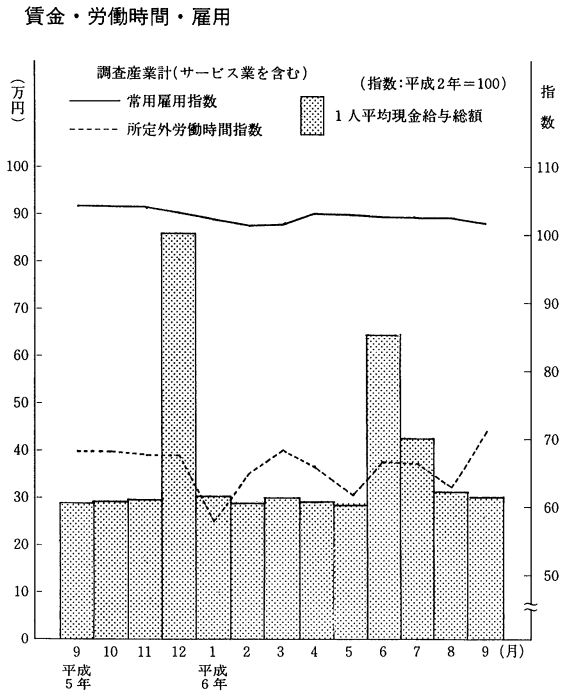
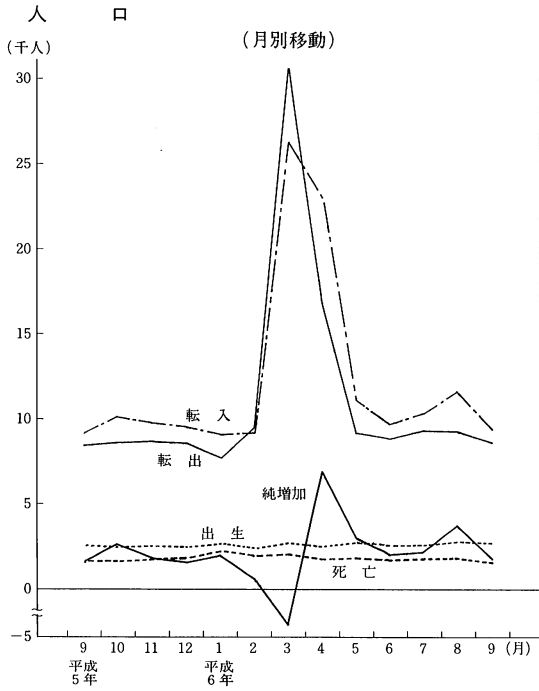
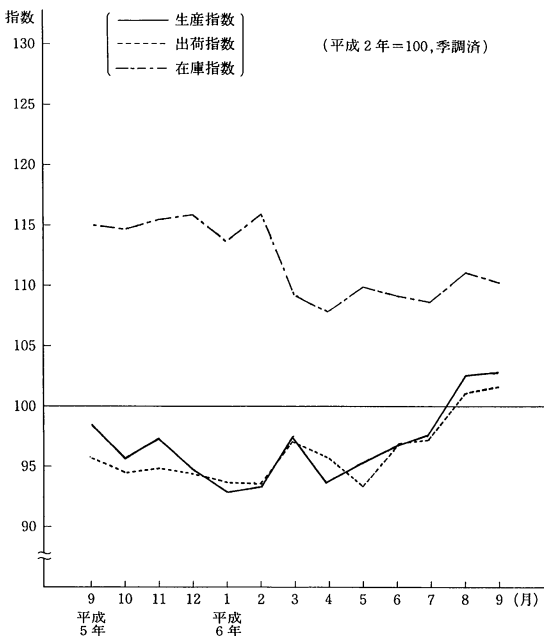


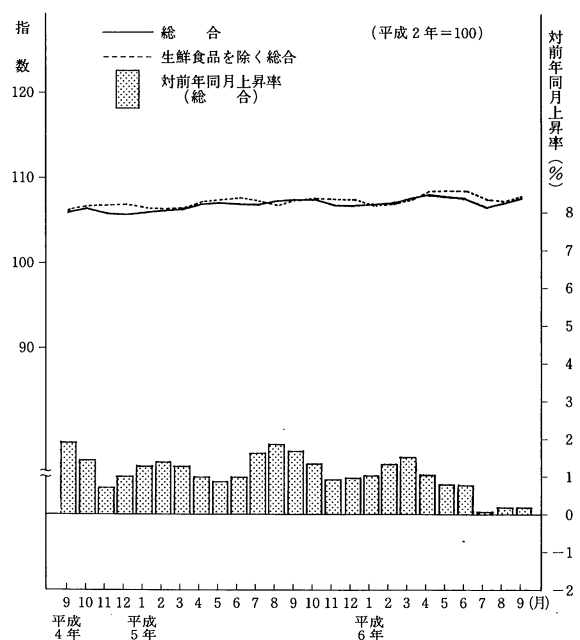
今月の主な動き

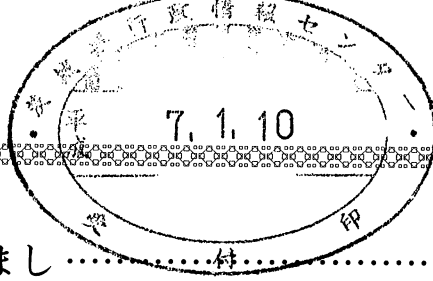


鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数





● 今月の主な動き ●

主な動きのあらまし 企画部 統計課

■ 人 口 (10月1日)

本県の人口は、9月中に1,758人増加し、10月1日現在で、2,949,063人(男1,474,619人、女1,474,444人)となった。

内訳は、自然動態で1,046人(出生2,563人、死亡1,517人)増加し、社会動態で712人(転入9,388人、転出8,676人)増加した。前年同月と比べると22,311人(0.76%)の増加である。

市町村別では、増加が15市46町村、減少が5市20町村、増減なしが1町である。

世帯数についても9月中に、1,412世帯増加し912,735世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (9月)

1. 平均賃金の推移

9月の現金給与総額は、調査産業計で300,225円、対前年同月比2.9%増、このうち、きまって支給する給与は297,910円、対前年同月比2.4%増であった。また、このうち、所定内給与は272,299円、対前年同月比2.4%増であり、超過労働給与は25,611円、対前年同月比2.5%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比3.2%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

9月の総実労働時間は、調査産業計で163.5時間、対前年同月比0.9%増であった。このうち、所定内労働時間は149.6時間、対前年同月比0.6%増、所定外労働時間は、13.9時間、対前年同月比4.4%増であった。

3. 雇用の動き

9月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.8%減であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (9月)

本県における平成6年9月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が102.7、出荷が101.4、在庫が110.2で、前月比は、生産が0.3%の上昇、出荷が0.7%の上昇、在庫が0.4%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が4.3%の上昇、出荷が6.1%の上昇、在庫が4.1%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、輸送機械工業、精密機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、鉱業、金属製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。出荷では、輸送機械工業、精密機械工業、一般機械工業等が上

昇し、鉄鋼業、非鉄金属工業、金属製品工業等が低下した。在庫では、輸送機械工業、石油・石炭製品工業、繊維工業等が上昇し、鉱業、食料品・たばこ工業、精密機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、資本財、その他用生産財等が上昇し、非耐久消費財、建設財が低下した。出荷では、資本財、非耐久消費財が上昇し、その他用生産財、建設財等が低下した。在庫では、その他用生産財、建設財等が上昇し、非耐久消費財、資本財が低下した。

■ 消費者物価指数 (9月)

平成6年9月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で107.5(平成2年=100)となり、前月比0.3%の上昇、前年同月比0.2%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……シャツ・下着11.5%、衣料7.2%、野菜・海草4.1%、生地・他の被服類1.9%、乳卵類1.7%

今月の下がった主な項目……穀類5.2%、魚介類1.8%、外食1.6%

生鮮食品を除く総合は107.8となり、前月比0.3%の上昇、

前年同月比は0.5%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年			対前月	対前年
総 合	107.5	0.3	0.2	保健医療	103.1	0.1	0.1
食 料	106.3	△0.6	△0.8	交通通信	99.2	△0.2	△1.2
住 居	115.3	0.0	2.1	教 育	114.0	0.0	3.5
光熱・水道	102.7	0.0	△0.4	教養娯楽	109.9	△0.5	1.6
家具・家事用品	99.5	△0.5	△2.2	諸 雑 費	104.5	0.2	0.7
被服及び履物	114.7	6.6	0.4	生鮮食品を除く総合	107.8	0.3	0.5